

JAえんゆう広報誌

ひざし

2023 1

No. 287

謹賀新年

ひざし

2023.1月号 No. 287

◆ 今月の主な記事 ◆

- ◎ 新年のご挨拶
えんゆう 農業協同組合
代表理事 組合長 関口 哲治… 2
- 網走 農業改良普及センター 遠軽支所
支所長 小川 邦彦… 4
- 北海道 農業協同組合 中央会
代表理事会長 小野寺 俊幸… 5
- J A えんゆう 青年部
部長 長谷川 雄基
- J A えんゆう 女性部
部長 北村 広子… 6
- ◎ 一日皆貯金 当選者発表…………… 7
- ◎ J A 青年部 畑作専門部
上湧別 玉葱振興会 青年部 合同視察研修開催
- ◎ 女性部 フレッシュミズ 合同研修会… 8
- ◎ 中湧別 小学校の児童たちが総合学習で
酪農を勉強しました
- ◎ J A えんゆう ホームページ リニューアル
& インスタグラム 開設のお知らせ… 9
- ◎ 令和 4 年度 役員 道外視察研修を終えて
…………… 10
- ◎ 令和 5 年度
営農計画 作成支援 日程…………… 12

理事会のあらまし
まちがい探し & 当選者発表
読者の声は
お休みいたします。

組合長 新年のご挨拶

えんゆう 農業協同組合 代表理事 組合長 関口 哲治



組合員の皆様、並びに J A 役職員の皆様におかれましては、ご家族の皆様と共に健やかに新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大から三年が経過し、ワクチン接種が先進国で進展した事により社会活動が正常化に向かうと予想されていたさなか、二月にロシアによるウクライナ侵攻が現実の事となりました。この事によって、コロナ禍に伴う消費低迷とウクライナ情勢による資材・運賃価格の高騰、円安と我が国だけでは解決できない問題の多い年となりました。農業分野では、行動制限緩和とインバウンドの復活で、食料品等の消費回復に期待を寄せていましたが、ウクライナ

ナ情勢と円安によるインフレで当初予想よりも鈍化傾向で、砂糖と乳製品の在庫状況は依然厳しく、加えて燃油・飼料・肥料等生産資材の高騰に生乳生産の減産と、農業にとってこれまでに経験のない難題の年となりました。

また、国内の気象状況は時季外れの最高気温記録更新、台風については、毎年のように西日本・九州地方で被害が多く、梅雨前線からなる線状降水帯の発生で、日本海側の東北と北陸地方での被害発生と、温暖化の進行を感じられる天候となり、被災された地域の方々には心よりお見舞い申し上げます。北海道の気象状況は、局地的な豪雨、一部では降雪など雨が多い年ではありましたが、生活に影響

を与えるような災害はなく、総じて穏やかな年となりました。

当地域の天候を振り返りますと、三月はまとまった降雪が二度ありましたが融雪は進み、平年並みに春作業が始まりました。五月は日照に恵まれ下旬まで雨が降りませんでした。白滝地区の一部では局地的な雷雨があり畑の表土が流出する被害がありました。六月の前半は、作物の低温障害を心配するほどの低温曇天雨が多く、一九日には上湧別地区の一部で降雪被害があり作物に甚大な被害が発生いたしました。七月は三十度前後の日が多く夏らしい天気でありましたが、発雷が多くオホーツク管内で再び降雪被害が発生いたしました。八月は、温度も湿

えんゆう 農業協同組合

謹賀新年

令和 5 年 元旦

代表理事 組合長 関口 哲治
代表理事 専務 菅井 誠
理 事 菅内 秀幸
阿部 和彦
八巻 武則
横尾 俊雄
岡和田 博
松浦 健治
高橋 敬貴
古関 則一
情野 修



度も高目で、強雨もあり小麦・玉葱・二番牧草の収穫を中断せざるを得ない雨の近い八月となりました。九〜十月は晴天が続く、収穫は遅延することなく終了いたしました。六月の降雪では123haもの玉葱を廃耕する被害となり、被災された組合員には改めてお見舞いを申し上げます。また、昨年はまとまった雨が少なく、圃場管理と肥培管理には苦労が多かったと推察いたしますが、組合員皆様の努力と技術により、平年並みの収量を確保できました。ことに、敬意を表すところであります。

畑作の状況につきましては、六月初旬の低温を除いては、日照と降水に恵まれまして、雹被害のあった玉葱以外は計画並みの収量となりました。平均反収では小麦計画8俵に対し8.2俵、玉葱計画5.8トに対し5.9ト、甜菜計画5.3トに対し5.9ト糖度16.4度、加工馬鈴薯計画3.4トに対し3.6ト、立茎アスパラ、ブロッコリー・南瓜・スイートコーン・青シソ・大豆についても計画以上の反収となりました。全国的に価格が高騰しました令和三年産の玉葱につきましては、令和二年産対比で186%の販売高となり、JAの今年度販売高を大きく押し上げることとなり、明るい話題となりました。

また、酪農については、当JAの乳価は加工原料乳補給金等を含め税込み102.8円、十一月末出荷乳量が前年同月比101.2%となっております。情勢は例年と異なり長期的に生乳需給が緩和している中で、生乳生産の減産要請、配合飼料など生産資材価格の高騰、個体価格の下落と経営に深刻な影響となっております。また、粗飼料の生産状況につきましては、購入飼料高騰の折、幸いにし

てデントコーンの実入りは良好で収量も平年以上の出来となりました。一番牧草は雨不足で草丈が不十分な地域もありましたが、二番牧草は平年以上の収量となりました。

現在建設工事中の哺育育成センターにつきましては、春からは完全稼働の予定です。昨年十月から預託牛の受入も始まり順調に生育しております。乳牛価格が低迷している昨今ではありますが、省力化の為に多岐多くの預託をお願い申し上げます。

農業情勢につきましては、前述しましたとおり厳しい状況であります。昨年未まで組合長会・中央会等で何度も中央要請運動を繰り返し、酪農業の苦境を訴え再生産可能な政策の打ち出しを要請して参りました。令和五年の加工原料乳生産者補給金は集送乳補填金と合わせて0.49円/kgの引上げ、総交付対象数量は15万ト減の330万トと決して満足のいく結果にはなりませんでしたが、長期間協議されていきました加工乳の乳価交渉は、四月一日から一律10円/kg、プール乳価で9.03円/kgの引上げとなり、皆様の生産抑制の強い決意が伝わったことで合意となりました。乳製品在庫は更なる低減が必要であり、生産目標数量は令和四年当初目標数量対比でマイナ3.4%と更に減産が必要な情勢になっております。酪農生産者の皆様には、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。また、畑作の情勢につきましても組合長会を筆頭に複数回に亘って与党議員・農水省と意見交換を重ねて折衝いたしました。砂糖在庫の状況は一昨年と変わっており、甜菜の作付面積減少を政府主導で決定されました。今年度の作付

面積は据え置きとされましたが、甜菜は輪作体系の維持と、所得確保の面からも欠くことのできない作物であり、今後の動向を注視しなければなりません。また、今年は畑作物直接支払交付金の数量払いの見直し年であり、物価高の緊急的な経済状況は全く反映されずに規定の計算式により、当地区に関連する畑作物に至っては三品とも引下で決定されました。ただし、別メニューで要件を満たせば交付される補助金をご用意しましたので、漏れる事の無いよう対応して参ります。

JAの改革は、制度的な改革は終わり、自ら改革するステージに移行しています。組合員との対話を実践し意見をとり込み、農業所得の増大とJAの経営基盤強化を目標として、農業振興計画・中期経営計画を樹立するよう農水省は求めております。農業所得の増大は農水が指示する事ではなく自ら求めるものと思いますが、今の急激に厳しくなりました農業情勢への有効な対策を引き出すには、組合員・役員が一丸となつて取り組まなければなりません。

結びになりますが、今年の干支は癸卯（みづのう）です。癸は次の新たな生命が成長し始めている状態を意味し、卯は穏やかなうさぎの様子から安全・温和の意味と、跳ね上がる意味もあり、何かを開始するの縁起が良く希望が溢れ、景気回復・好転する良い年になると謂われています。

この謂れにあやかり、天候に恵まれ災害がなく本年が豊稔の年となり、農業情勢が好転することと組合員家族の皆様のご健康と家内安全、絶対無事故を心よりご祈念申しあげ、新年の挨拶といたします。

酪農専門部会

代表	城岡 克利
監事	石田 佳宏
常勤	佐藤 直行
監事	馬場 秀人
参事	高橋 淳
参事	岡村 貴幸
職員	城岡 克利
	職員 一同

ビート専門部会

部会長	秋葉 宏之
副部会長	緑川 将仁
〃	名取 浩二
〃	林 秀和
〃	吉田 義巳

ブロッコリー専門部会

部会長	藤井 和人
副部会長	平野 俊幸
〃	牧野 俊介

新年を迎えて

網走農業改良普及センター遠軽支所 支所長 小川 邦彦



新年明けましておめでとうございます。令和五年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

農業者、関係機関の皆様には平素より農業改良普及事業の推進に對しまして深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年の気象経過を振り返りますと、四月から五月にかけては気温が高く推移したことから、融雪期はほぼ平年並みでした。六月に入り気温はやや低くなりましたが、七月以降は再び気温が高くなり、四月から十月までの積算気温では平年比105%でした。降水量につきましては、四月から五月にかけて降水量は少なく六月、八月にやや多い傾向でした。四月から十月までの積算降水量は平年比97%でした。

JAえんゆう地域の農作物の作況を振り返りますと秋まき小麦は、起生期から止葉期までの生育は順調で、平年よりやや早く推移しました。七月以降の好天により登熟が進み、収穫作業は平年よりも早く進みました。子実収量は平年よりやや低く、歩留まりも高くなりました。蒟蒻縮病の発生が多く、赤さび病、赤カビ病の発生は平年並み

でした。

てんさいの移植、直播栽培のは種作業は順調に進み、出芽も良好でした。七月以降の気温上昇に伴い、根部肥大も進みました。収穫作業は平年並みに終えました。収量は平年より多かったものの、糖分は平年を下回る結果となりました。

飼料用とうもろこしについては、は種時期は好天に恵まれ、は種作業は順調に進みました。五月から六月にかけての低温で生育が停滞したものの、七月以降は回復し、その後の生育は順調に推移しました。子実の登熟も進み、収穫作業はほぼ平年で終了しました。生収量、TDN収量ともに平年を上回る結果となりました。

牧草（一番草）の生育は平年並みに推移し、収穫作業もほぼ平年並みに終わりました。収量は平年をやや上回りました。二番草については高温と適度な降雨により順調に生育し、収量は平年並みでした。年間を通して平年並みの収量を確保することができました。

なお六月中旬に一部地域で降雹の被害を受け、たまねぎなどで廃耕になるなど、大きな被害を受けました。

今年は長期化する新型コロナウイルス感染症による影響に加え、ロシアによるウクライナ侵攻により肥料や飼料価格の高騰・品不足、光熱費の上昇、個体販売価格の低迷、さらに円安による物価の値上げラッシュが続ぎ、農業経営にとってこれまでに経験したことのない不安な状況が続いています。また、経営所得安定対策の単価の見直し、てんさい糖の国内産糖交付金の削減、生乳生産数数量減など、厳しい経営環境が当面続く状況にあります。

今後農業経営を継続していくに当たって、土壌分析による施肥改善、堆肥・尿の有効活用、輪作体系の見直し、乳質・乳成分の向上、良質自給飼料の確保など、経営内部の基本的な技術の確認と改善により、経費の節減と所得を確保していくことが重要になってきます。

普及センターとしても生産者や関係機関の皆様と連携し、経営の安定と地域農業振興に向けた取組を積極的に進めてまいります。

最後になりますが、本年の豊穡の秋とご家族の皆様のご健勝を、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

玉葱専門部会

部会長 山田 忍
副部会長 三品 雅敏
中川 隆司

小麦専門部会

部会長 岡村 英巳
副部会長 梶原 達矢
前島 英樹

南瓜専門部会

部会長 松浦 亮太
副部会長 松崎 一史

えんゆう農協青年部

部会長 長谷川雄基
副部会長 松浦 慶太
小崎 光

えんゆう農協女性部

部会長 北村 広子
副部会長 松田美由紀
阿部フサ子

令和5年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 小野寺 俊 幸



新年あけましておめでとございませす。組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ、6月の降雪、8月の記録的な大雨、9月の台風により、一部地域、作物によっては生育に大きな影響が出たものがありました。収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与え

る影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、JAGグループ北海道としてしっかりとその対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。

JAGグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年は、第30回JAG北海道大会の実践2年度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況で

あるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、JAGグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自国で生産するという「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となつてしっかりと取り組んで参りましょう。

結びになります。本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊穡の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



新しい年を迎えて

JAえんゆう青年部

部長 長谷川 雄基



新年あけましておめでとございます。
令和5年の新春を迎え、青年部員ならびに農業関係者の皆様には心よりお喜び申し上げます。

昨年はロシアによるウクライナ侵攻や円安に伴う飼料、肥料の高騰が農業経営に大きな影響をあてました。
長く続く新型コロナウイルスについては、ワクチン接種が進むにつれて行動制限の緩和から日常の生活が戻ってきたように感じます。

しかしながら物価の高騰に対し、農畜産物の消費量は未だに下火であり我々生産者には不安の残る年でした。
農作業では一部地域にて降雪降雨被害があったものの、春からの順調な植付け、その後の天候もあり作物全体で豊作傾向でした。

青年部活動としましては、夏に農林水産省から職員1名を受入、松浦副部長の牧場にて搾乳ファームステ

イ体験、その後はめんゆうアグリサービスや搾乳ロボット見学、夜は青年部員を集め意見交換会を実施し、畜産課勤務ということもあり、厳しい状況の中での今後の方向性や必要になってくる助成についても話していただきました。

上湧別小学校では、例年通りの農業体験学習を無事に行うことができましたが、来年以降は場所の変更など、地域や学校との関わりあい青年部の課題だと思えます。

年末には青年部大会が3年ぶりに通常開催となり多くの部員に参加協力をしていただき、部員の高柳仁志が青年の主張への出場、自分の農業への想いを語ってもらいました。

最後になりましたが、今後何が出来の模索しながら青年部一同力を合わせ乗り切っていければと思います。本年も関係機関各位、および部員各位の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

JAえんゆう女性部

部長 北村 広子



新年明けましておめでとございます。
令和5年の新年を迎え、女性部員ならびにご家族の皆様には心よりお喜び申し上げます。

農協をはじめ、各農業機関、組合員の皆様には日頃より女性部活動にご理解とご協力を頂き、感謝申し上げます。

昨年は引き続き感染対策、療養された方は日々緊張の中で生活することになり気苦労の多い年だったかと思えます。

また、世界情勢の悪化で燃料・物資の高騰にともない、私たちの身近な食料品、日用品などの値上げ、あまり良いニュースは無かったと思いますが、今年度の女性部は事業がひとつずつ行われることに、部員の皆様方の結束力に感動する年でもありました。皆様の努力に心から感謝い

たします。今年は更なる結束の年に部員の皆様と力を合わせて前進していきましょう。

ご承知のとおりミキコロナの下の活動、生活形態、多様化など、私達を取り巻く環境はますます変化しています。いろいろな議題が山積みになっていきますが、新しい年を迎えることが出来たことを感謝して毎日大切にしたいと思っています。

部員の皆様と一丸となって、一日でも早く明るい話題を共有できるように取り組んでいきたいと思います。

オホーツクの空のもと、農業の素晴らしさを未来に繋げていき、部員の皆さま自身を大切に農作業に取り組んで頂きたいと思えます。

本年も引き続き、各関係機関の皆様には、女性部へのご指導とご協力をお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



一日皆貯金 当選者発表

【特賞】一万円 (三名)

新井 睦朗・工藤 努・北村 知美

【金賞】五千元 (五名)

中川 郁子・平井 真紀・山口伸太郎
野村なおみ・平井 貴幸

【銀賞】三千元 (十名)

佐藤 光代・志賀かをる・田浦 和子
馬場 恵・三品 明美・佐藤 哲哉
久須田 昭・荘司 由美・中嶋美知子
森谷 正敏

【銅賞】一千元 (七十名)

高橋 祐二・高橋 知生・中川 秀子
長谷川拓哉・石田 京子・岡村 英巳
岡村優美子・大河原 葵・梶原 達矢
今野 生竜・小崎 強・小林 洋子
紺野 藤子・佐藤 奈々・佐々木絵里
佐々木公子・平野 道子・福本ユキ子
城岡 幸枝・長谷川美香・松原 栄子

三品 幸義・三品 泰知・三品 凜子

森谷 宏幸・森谷 盾紀・山田 陽己

吉村 和子・鈴木 健大・鈴木 翔大

高橋 和枝・中川 心晴・麻植 園子

木村 京子・佐藤 早苗・林 正幸

長谷川久子・松浦 楓香・三宅 正人

村田 礼子・脇坂美知子・吉田 真菜

原田 真翔・山口 蔵壘・原田 皓成

鬼束 啓子・吉田 隼汰・高栖 旭史

高橋 利幸・伯谷 清人・大久保真由美

山口 亮・中嶋 公士・小森 節子

向中野ヒサ子・小石澤佳奈・加賀屋公美

笹原 麗子・坂野 作永・井上久美子

新野尾伸一・原田 珠英・木村 和三

原田 英範・笹原 仁・関東 静子

益山 藍瑠・安立 孝之・関東 悟

西原 勝義

(順不同・敬称略。お名前に誤字等ございましたら、ご承願います。)

当選された皆様、大変おめでとうございます。

賞金につきましては、一月

末日までに貯金口座に入金いたします

のでご確認ください。また、当選され

た方にはあらためて文書にてご通知申

上げます。

当JAは、今年も皆様のお役に立

てる金融機関として貯金業務はもちろ

ん相談業務充実をはかり、皆様のご利

用をお待ち申し上げております。



J A 青年部畑作専門部 上湧別玉葱振興会青年部合同視察研修開催

J A 青年部畑作専門部と上湧別玉葱振興会青年部は12月5日から6日にかけて、合同視察研修を開催し、部員11名が苫小牧市の(株)北海道クボタビクターセ

ンターと、日本ニューホランド(株)苫小牧デポを視察しました。最初に(株)北海道クボタビクターセンターを訪れ、トラクターやドローンを視察し、GMB(グ



トラクターをバックに記念撮影

ローバルメジャーブランド)を目指すクボタグループの紹介など、貴重な話を伺うことが出来ました。続いて日本ニューホランド(株)苫小牧デポを訪れ、セルフメソナンスや農作業安全対策についての説明のほか、有意義な意見交換をおこなうことが出来ました。研修終了後は札幌市内に宿を取り、部員同士で親睦を深めつつ、有意義なうちに研修を終了することが出来ました。

腰痛予防トレーニング&スワッグ作りを体験 女性部フレッシュユミズ合同研修会

12月8日、J A えんゆうフレッシュユミズは農村環境改善センターで合同研修会を開催しました。

午前中は遠軽町スポーツ協会の赤塚大介氏を講師に招き、腰痛防止につながる姿勢改善トレーニングをしました。最初にテニスボールや短い棒を使った準備運動で筋肉をほぐし、ピラティス・筋トレ

と腰痛防止につながる充実したメニューが行われました。参加した部員たちは最初、「痛い痛い!」と声を漏らしていましたが、研修終了後は体の変化に驚いていました。

昼食をはさみ、午後からはアトリエChicoの渡邊千晶氏を講師に招き、プリザーブドフラワーを使ったスワッグ作りをしました。スワッグとはドイツ語で「壁飾り」を意味し、花材を壁に飾って楽しむインテリアグッズの一つです。部員たちはどの花を使うか、組み合わせはどうするか悩んで作っていました。完成後、お互いの作品を見せ合うなど、有意義な研修となりました。



ピラティスや筋トレと体を動かしました



スワッグ作りは
どの花を使うか悩んでいました

スワッグとはドイツ語で「壁飾り」を意味し、花材を壁に飾って楽しむインテリアグッズの一つです。部員たちはどの花を使うか、組み合わせはどうするか悩んで作っていました。完成後、お互いの作品を見せ合うなど、有意義な研修となりました。

中湧別小学校の児童たちが総合学習で酪農を勉強しました

12月9日に㈱ADF（湧別町旭）にて、中湧別小学校3年生の総合学習が行われ、児童15名が牛舎を見学、町の基幹産業である酪農について勉強しました。

湧別町旭の斎藤由季さんと佐藤希代子さん案内のもと、搾乳ロボットをはじめ、育成舎、哺育舎の順に見

学をしました。児童たちは最初、間近で見る大きな牛に少しおっかなびっくりの様子でしたが、次第に慣れていき写真を撮ったり、牛の頭に手を伸ばしている子もいました。最後に哺育舎で仔牛たちを見学。エサやりを体験し、「楽しかった」と牧場を後にしました。



総合学習の様子
えさやりも体験しました

JAえんゆうホームページリニューアル&Instagram開設のお知らせ

JAえんゆうのホームページが新しくなりました。携帯でも見やすいサイトになってますので、ぜひ閲覧ください。

また、JAえんゆうの公式Instagramを開設しました。リアルタイムでえんゆうの活動をPRしていく予定ですので、フォローをよろしくお願いいたします!!

Instagram閲覧方法

Instagramのアプリをダウンロードしてアカウントを作成後、下記URLまたはQRコードを読む込むか、Instagramアプリ内で「ja_enyu_hokkaido」と検索してください。

https://www.instagram.com/ja_enyu_hokkaido/?utm_source=qr



えんゆうホームページ
QRコード



えんゆうInstagram
QRコード

令和4年度役員道外視察研修を終えて（東京都・広島県・山口県）
 視察日時 令和4年11月15日～令和4年11月19日（5日間）

報告者 理事 松浦 健治

組合員の皆様におかれましては、秋の農作業も終わり冬支度も大方整えられたことと思います。さて今年度は、一般的に畑作物は平年作以上の取れ高で有りましたが6月には思わぬ降雪被害があり、一部の玉葱生産者の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。酪農家の皆さんにおかれましては、長引くコロナウイルスによる経済活動の停滞による生乳生産の減産抑制、またロシアによるウクライナへの侵攻の影響による世界経済の混乱、円安の進行による肥料・飼料など生産資材の高騰など、我々農業者にとつて受け入れがたい状況が続く大変な1年でありました。そんな中、コロナ対策に十分配慮し3年振りの役員視察研修が行われました。

11月15日（火） 1日目

早朝6時半より本所を出発、遠軽支所安国経由で乗車し、参加者総勢13名（役員11名・職員2名）は女満別空港に到着。今回の視察研修で農協観光より派遣された中西添乗員と合流後、予定通り女満別空港を後にし、羽田空港に無事到着しました。空港内のレストランで昼食後、観光バスにて1件目の視察先豊洲市場に向かいました。

豊洲市場では、東京シティ青果の中山課長に案内をいただき、青果市場の真新しい構内を中心に青果物の搬入・搬出の流れなど説明をいただきました。構内の一角には、セリを終えたJAえ

んゆう産の玉葱が木製のパレットの上に整然と並び買手先への出荷を待っていました。えんゆう産玉葱についてはチ



えんゆう産の玉葱の評判は上々です（1日目豊洲市場にて）

ューリップのマーク箱と親しまれ、品質も良く上々の評判であるとの評価をいただきました。これも玉葱生産者皆さんの長年にわたる生産努力の結果と心より称賛の拍手をお送り致します。2件目の視察先であります、JA全農に伺いました。

ここでは、飼料・肥料価格高騰の背景と今後の情勢について畜産生産部三浦課長・肥料課成田課長にお話をいただきました。飼料については、平成19年から令和3年までの価格動向の要因について説明があり、右肩上がりです昇を続ける飼料価格にあらためて驚きを覚えました。ここ最近の高騰、高止まりの要因としては、中国の穀物輸入の拡大とロシア・ウクライナ紛争が大きく影響しており、そこに燃料価格の高騰・円安が追い打ちをかけるという

三重苦の状況にあり、この傾向は当分の間は続くとの事でした。肥料については世界的に肥料の需要増加による価格の上昇、さらにはロシア・中国からの輸入止め、輸入制限が要因となり、原料不足は今後も続くようです。対策としては、不足分を他の国からの調達による置き換えを進め、高止まりは続くものの量的には確保していくとのことですが、いつまでも高い生産資材を買わなくてはいけないのか、土壌分析による化学肥料の見直しや堆肥等の有効活用必要性を強く感じました。



農業の現状について意見を交わしました（1日目 写真左JA全農・写真右自由民主党会館）

本日最後の訪問先である、自民民主党館にいる武部新衆議院議員を訪ねました。昨今の農業情勢を鑑みて、武部代議士に農業の現場、酪農の今の実情を強く訴えて参りました。その後、武部秘書の方に「自民党総裁の部屋」「記者会見室」など会館内を案内いただき大変お世話になりました。武部代議士には夕食会にも参加いただき、冗談を

交えながらも時には真剣な眼差しで農業の現状を語り、有意義な懇談の時間を過ごすことができました。

11月16日（水） 2日目

翌朝8時にホテルを出発し、羽田空港から広島空港に移動しました。広島空港は全国でも珍しく、標高の高い所にあるため、山の中に突っ込む様に着陸致しました。気温は19度、地元北海道と比べるととても暖かく山肌は青々しており、イチヨウの葉が少し黄色く見える程度で紅葉はまだこれからでした。広島市内までバスで小一時間走り、広島市内にある「お好み村」において広島名物お好み焼きを昼食会場としました。大阪お好み焼きと違い中に麺が入っていて、お腹いっぱい美味しく頂きました。

昼食後、本日の最初の研修先でありますJA全農とれたて元氣市（直売所）を視察致しました。1600人の出荷農家が、とれたて旬な生産物を直接持ち込み販売するシステムです。商品陳列棚は、腰の高さのものが多く、広々とした店内に広島県産の野菜や果物、

鮮、花やお米、お酒、惣菜などがずらりと揃っています。広島県は、色々な野菜から果物まで一年を通して



旬な食材がずらりと（2日目 JA全農とれたて元氣市にて）



平和の大切さを今に伝えています
(3日目広島県原爆ドーム)

て栽培され、店内にはその時折の旬な食材が並び、地産地消、右肩上がりです。その後、呉市海事歴史博物館（大和ミュージアム）を見学して来ました。ここは、日本の近代化の歴史そのものであり、その近代化の基礎となった、造船・製鋼を中心とした当時の科学技術を紹介しています。10分の1の戦艦大和や零式艦上戦闘機、人間魚雷「回天」など多くの実物資料を展示し、戦争の悲惨さ平和の大切さを今に伝えています。

11月17日(木) 3000

この日は、平和記念公園・原爆資料館を訪問です。そこには原子爆弾投下前の街並みがジオラマ化されており、昭和20年当時広島市に住む人々の何気ない平和な生活が一つの原爆の閃光によって一瞬のうちに半径2kmが死の灰と化した事実がありました。地上600mで炸裂した凄まじい光と共にドーンという爆風はそこにあるすべての建物や、その場に居たすべての人々の命を容赦なく奪いました。資料館には、記録として撮られた貴重な写真が多数ありましたが、あまりにも酷い光景に

撮影者もシャッターをきれない強いためらいを覚えたことが記されています。二度と戦争を起さずにはならないと、この報告書を書きながら深く心にこみ上げてくるものを感じました。原爆犠牲者の御霊に哀悼の意を捧げるとともに、後世に残さなければならぬ人類の願いや叫びだと強く感銘いたしました。

さあ次は、宮島にある世界文化遺産「厳島神社」の見学です。干潮時だった為には鳥居のすぐそばまで歩いて近づくと出来ました。家族の健康・長寿を願うとともに、世界中で起こっている紛争、とりわけウクライナに平和が訪れることを願い手を合わせてきました。

その後、山口県に向かい岩国にある五連のアーチで有名な木造橋「錦帯橋」を歩いて防府にバスを走らせ日本最初の天神様「防府天満宮」を見学し、本日の宿泊地山口市湯田温泉に到着しました。宿泊先は湯田温泉「西の雅常盤」夕食後80才の女将が「女将劇場」と称し地元大学生と共に、太鼓や手品等数々の余興を約90分位披露し、宿泊客を楽しませてくれました。

11月18日(金) 4000

本日の研修先は「株式会社豆子郎」創業75年社員数86名・働き方改革で山口県より表彰を受けた人を大切にしている会社です。正品の製造から販売まで一貫しており、常に出来立てと食感にこだわりを持ち、賞味期限がとて短く、他社への委託販売はせず本店含め県内に13店舗を直営し、本店のみオンラインショップを行っているということです。働き方では、障害のある方



人づくりの原点を学びました
(4日目 株式会社豆子郎にて)

も積極的
に雇用さ
れており
「百人い
たら百通
りの働き
方が出来
る会社を
目指して
いる。」
と言った
のでした。
一人の百
歩より、百人の一步を大切にすること
で、一人ももれなく意識改革を促し、
社員教育のマニュアルはないが、何が
ベストなのか一人一人が臨機応変に行
動し、たえず地域のオンリーワンを目
指す人と人との繋がりを大切にする事
をモットーとしているとのことでした。
研修日、社長さんは留守でしたが、担
当の役員室アシスタント松井様にお話
をいただき、人づくりの原点を学び大
変参考になりました。

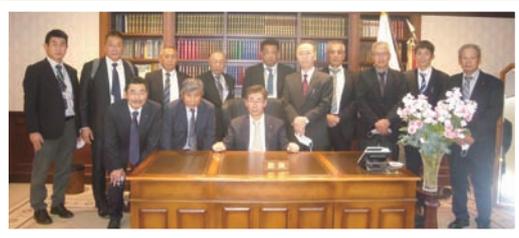
その後、国定公園秋吉台・秋芳洞に
向かいました。ここは国の特別天然記
念物に指定されており、地下100mから
200mにある鍾乳洞で、約1kmの
観光路をもって公開されています。洞
内には無数の鍾乳石が天井から垂れ下
がっている空間や、直径5mの巨大な
石柱。下部はフロアストーンでひろが
り、富士山のようなスロープを作ってお
り、洞内富士とも呼ばれております。
秋芳洞のスケールの大きさ、更に自然
の力つて本当に凄いなと思いました。
そして次は、萩市散策・松陰神社・
松陰記念館等見学し最後の宿泊先長門

11月19日(土) 5000

最終日、山口市にある瑠璃光寺五重
塔・山口ザビエル記念聖堂を見学し、
昼食は山口名物瓦そばを頂きました。
そばを鉄の瓦の上で焼き、ねぎ、卵、
牛肉などをのせて、タレをつけていた
頂きました。初めて食べましたが、大
変美味しく頂きました。

その後、山口宇部空港から羽田空港
経由で、女満別空港に午後7時半過ぎ
に到着し、参加者全員怪我、病気、コ
ロナによる感染もなく役員研修を終え
ることが出来ました。

研修中は天候にも恵まれ、それぞれ
の地域において有意義な研修ができ、
今後の我々のビジョンであったり、プ
ランニングに大いに役立つものと思っ
ています。又、どこの研修先において
も懇切丁寧に
対応いただい
たことにこの
場をお借りし
お礼と感謝を
申し上げます
とともに、今回
この様な機会
を与えていた
だいたJA関係
の皆様と留守
を守ってく
れた家族に感
謝し報告にか
えさせていた
だきます。



役員ならびに随員職員一同

賀正



昨年中はご愛顧を賜り

厚く御礼申し上げます。

本年も旧に倍しての御愛顧の程

宜しくお願い申し上げます。

社員一同、皆様の御用命を

心よりお待ちしております。

令和五年 元旦

(株)ジェーエーえんゆう

燃料事業部

農機・整備事業部

エーコープ事業部



令和5年度 営農計画作成支援日程

本所 (会場：本所 大会議室) ・遠軽地区 (会場：遠軽支所 大会議室)

日程	曜日	午前9時～午後12時	午後1時～午後4時
1月19日	木	開盛・札富美・旭	
1月20日	金	富美・上富美	
1月23日	月	北兵村二区・三区	北兵村一区
1月24日	火	屯田市街地	南兵村二区
1月25日	水	南兵村一区	南兵村三区
1月26日	木	社名刈地区・学田地区・遠軽・清川地区	
1月27日	金	瀬戸瀬地区・丸瀬布地区	

※協議日程の都合が悪い方は、別会場・別時間でも参加可能です。
但し、別会場希望の方は、事前に担当者までご連絡お願い致します。
尚、日程が変更になる場合は、都度連絡申し上げます。

●白滝・生田原地区につきましては、1月7日以降、個別にご連絡させていただきます。